

映画鑑賞体験への支援 寄付者向け報告書

NPO法人チャリティーサンタ

目次

1. クラウドファンディングについて

ご家庭からの感謝の言葉 …	P. 4
概要／結果 …	P. 8
寄付者の皆さまからのお声…	P. 9

2. プレ実施について

事前調査結果

映画鑑賞体験前の調査結果 …	P. 15
事前アンケートで届いた声 …	P. 24

事後調査結果

映画鑑賞体験後の調査結果と 事後アンケートで届いた声 …	P. 29
---------------------------------	-------

3. 本格展開に向けて

皆さまからのアンケート …	P. 41
プロジェクト名の決定 …	P. 42
本事業の最大の特徴 …	P. 43
今後について …	P. 47
その他 届いた声(一部抜粋) …	P. 48



ークラウドファンディングについてー

映画は少し我慢をすればDVDやテレビで見ることができます。
なので子供たちが「お金をかけてまでしなくていい」と思っていました。
でも、映画館で見た記憶はとても残るものだと思います。
特に行くまでの楽しみが映画のひとつのイベントとなります。
楽しい時間をありがとうございました！

毎年、夏休みに思い出を作らないと必死でしたが、夏休み最終日に映画に行き、映画を見終わった後に「良い夏休みになった」と言ってくれました。

生まれて初めての映画で、行けると分かった時からドキドキワクワクずっとしていて、終わってからも映画の話をもっと楽しそうにしてくれて、親子で楽しめた事は親の私にとってもリフレッシュになり、忘れない思い出にもなりました。

本当に素敵なプレゼントをありがとうございました。

不甲斐ないことに、毎日食べていくだけでもやっとなかなか娯楽に回せるお金がありません。

息子のお友達は旅行やプールなどに行っているものの、今年は学校のプール開放もなく、市民プールにすら連れて行ってあげることができませんでした。

物価や光熱費が驚くほど高く、毎日必死で働いていても貯蓄に回すほどのお金が残りません。

もう4年生で学童にも行けず、夏休みは家か図書館ですっと過ごしていた息子でしたが、今回映画館に行かせていただき、大好きなミニオンを観ることができてすごく喜び幸せな体験をさせていただくことができました。

娯楽は必須ではない、わかっているのですが、こうやってご支援のおかげで息子に幸せな体験をさせていただくことができ、本当に言葉にできない感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

まわりの家庭は夏休みといえればキャンプや旅行、帰省、テーマパークなど楽しい予定がたくさんあります。我が家はもちろんそのような予定はなく、**映画くらいと思うのですが田舎住みのため映画館までの交通費や家族分のチケットとなると、米が買えると思っ**てしまい躊躇していました。

夏休みの宿題に絵日記（しかも2日分）があり、映画に行かせていただいたおかげで絵日記も楽しく描くことができていました。都市部などであればひとり親家庭対象の集まりなどあるようですが、地方ではなかなか難しいです。**映画であればどの県でも電車でなんとか行ける距離にはありそうですし、こどもにとってもとても楽しめるイベントとして思い出に残ると思**いました。

日頃の生活が衣食住最優先になってしまい「楽しむ」が疎かになってしまふ毎日です。今回このようなプレゼントをいただき本当にありがとうございました。

ご寄付いただき本当にありがとうございました！！



開催期間 : 2024/8/9～2024/9/10

目標金額 : 1,000,000円

資金の使い道 : 次回以降の本格スタートの際の親子招待に活用

映画館での映画鑑賞は、心の深いところの栄養になると思っています。
日々の暮らしの中で優先順位が低いと思われるかもしれないけど、この取り組みで実際に体験できる親子が増えていきますように！

映画館でしか体験できない映像と音を、1組でも多くの親子に楽しんでもらえるように応援しています。

小さい頃、連れて行ってもらった映画館のことは、大人になった今も覚えています。たくさんのお子もたちに、この体験をしてほしいです。素敵なプロジェクトをありがとうございます！

先日、4歳の息子と初めて映画を見て、子供が喜ぶ姿に感動しました。ひとりでも多くのお子さんに、このプロジェクトが届きますように…！

昭和の頃、映画館で「寅さん」を観ました。見ず知らずの観客と一緒に笑うのは大きな癒しでした。

映画を観に行くことで別の世界に触れ、新しいことを知るきっかけになり、それがまた生きていく上での力になるかもしれません。1人でも多くのお子もたちに、その機会が訪れますように。

格差や不公平をこの頃良く目にします。個人では直接何かすることも難しい中、何時も『手助け手段』を提示して頂き、ありがとうございます。

ー プレ実施について ー

取組概要

目的：様々な体験機会を失っている生活困窮家庭（主に経済的貧困）を対象に、無償で親子を映画鑑賞という体験・特別な思い出を届ける。

目標：全国で、継続的に実施できる支援モデルをつくることを目指す。

対象者：生活困窮家庭の親子

時期：長期休み期間等を想定（2024年度テスト実施）

家庭の声から見えてきた「映画の我慢」

「旅行や映画など外出は控えているので子どもに「楽しみがない」と言われます。体験型のイベントや映画鑑賞券などがあると助かります。」

「映画、動物園など、入場料がかかるものには連れて行ってあげられないのが申し訳なく思います。子供達にはすてきな思い出を作ってほしいないつも思います。」

「色々とお金のかかることばかりで普段の生活で外食やお菓子、映画などお金のかかる事は我慢してもらっています。」

「経済的な理由で、普段人形劇はもちろん、映画など料金がかかる物は見せてあげれていません。でも文句を言わず、図書館で本を借りたり、テレビで放送されている映画を観るのが楽しみな子ども達に人形劇をプレゼントしてやりたいと思い応募しました。子ども達が喜ぶ顔が見たいです。よろしくお願いします。」

2024年7月	ご家庭へ映画鑑賞体験のご案内 事前調査（映画鑑賞前） で、実態調査
2024年8月	本格展開のためのクラウドファンディング実施 ご家庭へ当選・落選のご連絡 各家庭で映画鑑賞
2024年9月	事後調査（映画鑑賞後） で、映画体験によってどのような変化があったかを確認
2024年10月	今後に向けた分析と皆さまへのご報告

事前調査結果

映画鑑賞体験支援の対象家庭

プレ実施では全国380組、合計1,000人のご家庭を映画鑑賞に招待しました。

■支援対象：チャリティーサンタが支援している困窮世帯(*1)

■申込み件数：1,855家庭

■当選件数：380家庭

└子ども 600人

└保護者 400人 合計1,000人

※事後アンケート回答割合：91.3% (347/380)

■支援内容：全国の映画館で利用できる、好きな映画を観られるデジタルギフト「映画GIFT(*2)」をプレゼント

(*1)困窮世帯・・・児童扶養手当や就学援助などを受けている もしくは、それらの家庭と同等程度の経済状況の家庭

(*2)映画GIFT・・・全国の映画館で利用できるデジタル映画鑑賞券「ムビチケ」を購入の際にご利用いただけるプリペイドコードです。ムビチケのウェブサイトから観たい作品を選んだら、購入画面で映画GIFTコードとPINコードを入力してムビチケを購入し、映画館のサイトで座席指定することで映画を鑑賞できます。

調査対象：世帯別情報

受けている支援

生活保護	児童扶養手当	就学援助	上記の対象家庭と同程度の経済状況	上記のどれにも当てはまらない
94	1,509	1,190	148	0
5.07%	81.35%	64.15%	7.98%	0.00%

合計
1,855

子どもの人数別の家庭数

1人	2人	3人	4人	5人	6人以上
854	648	244	82	22	5
46.04%	34.93%	13.15%	4.42%	1.19%	0.27%

合計
1,855

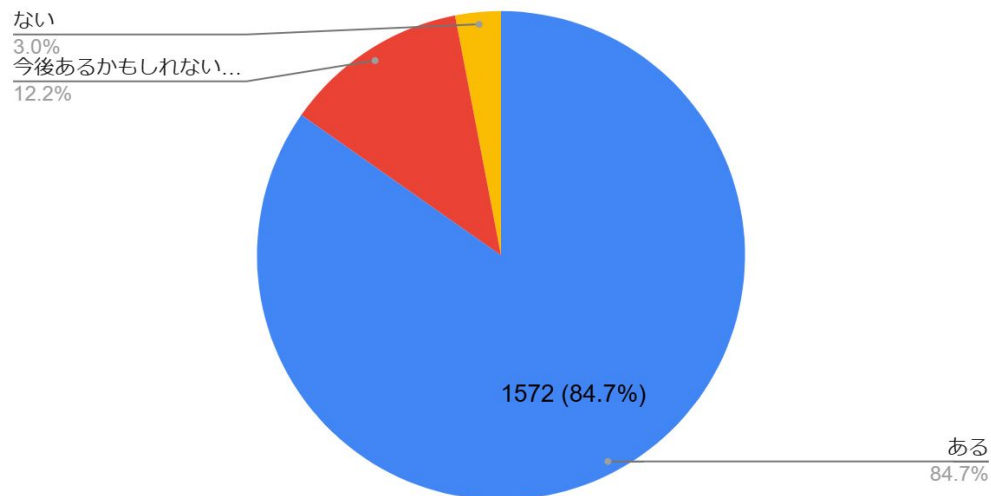
子どもの年齢

未就学 (0～2歳)	未就学 (3～6歳)	小学校 1～3年生	小学校 4～6年生	中学生	高校生	19歳以上
88	409	762	852	658	403	187
4.74%	22.05%	41.08%	45.93%	35.47%	21.73%	10.08%

合計
1,855

保護者の84.7%が「経済的な理由で映画館での鑑賞を諦めさせた経験がある」と回答。「今後あるかもしれないと不安に感じている」も含めると96.9%に。

経済的な理由でお子様に映画館での映画鑑賞を諦めさせたことがありますか。(n=1,855)



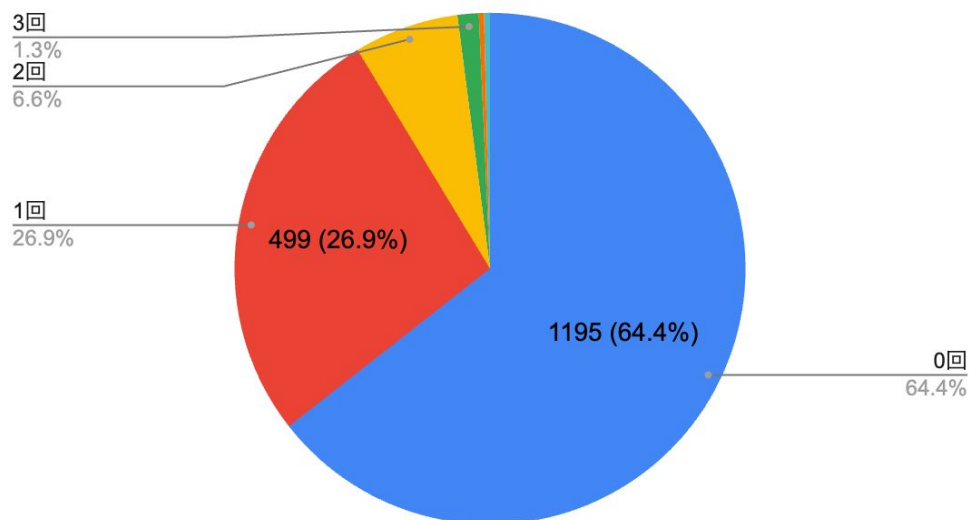
・友達と夏休みに行きたいと言っているがご飯代もあげると3000円、それをみんなにやったら1万円。とても無理。映画にも連れていけない経済事情。本当に子供達に申し訳ない。(お子さん：小学6年生、中学1年生、高校1年生)

・夏休みにみんな映画を観に行く話をしている切なくなる。上映スケジュールを把握して話題に付き合ってみたりする。気を遣わず好きな映画をみさせてあげたい。(お子さん：小学4年生、高校2年生)

・行くのはホスピスや病院の見舞いだけで、夏のイベントがまったくなく、母として不甲斐ない気持ちで毎日情けなく思っていました。お小遣いもやれないので友達同士で遊びに行くのも遠慮して、家で勉強するからいいよ、と言ってくれるから更に申し訳ないです。(お子さん：中学2年生、高校3年生)

この1年で子どもの映画館での鑑賞回数は、3人に2人が無し と回答。
1回26.9%、2回が6.6%、3回以上が2.0%となった。

お子様はこの1年の間に映画館で何回映画を観ましたか？
(n=1,855)



・いままで一度も映画館に連れて行ったことがないので、臨場感を体験させたい(お子さん：中学3年生)

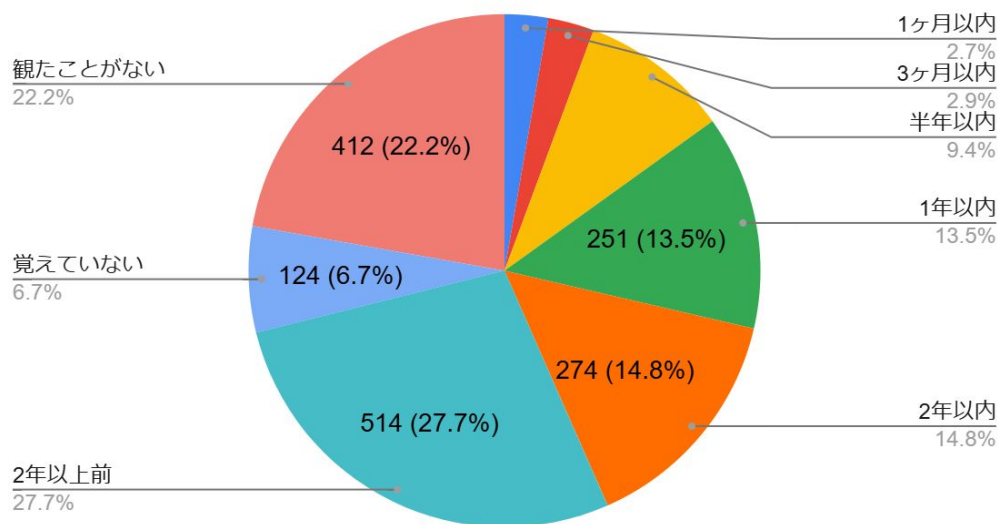
・今まで1回も映画館で映画を見せたこと無いので、1回は見せてあげたい(お子さん：高校1年生 小学4年生)

・長男は経済面を心配しており、映画館に行ったことがないためです(お子さん：小学5年生 小学2年生)

・いままで一度も映画館に連れて行ったことがないので、臨場感を体験させたい(お子さん：中学3年生)

保護者の5人に1人が「親子一緒に映画館で観たことがない」と回答。
「1年以上観ていない」「覚えていない」も含めると71.3%に。

直近で、お子様と一緒に映画館で映画鑑賞したタイミングを教えてください。(n=1,855)



・ユーチューブだけではなく大きなスクリーンで映画体験をし夏休みの思い出になってほしい(お子さん：小学4年生、中学1年生、中学3年生、高校2年生)

・映画は高いので基本的に行かないです。ですが、映画館でみる体験も一度はさせてあげたいです。(お子さん：小学5年生)

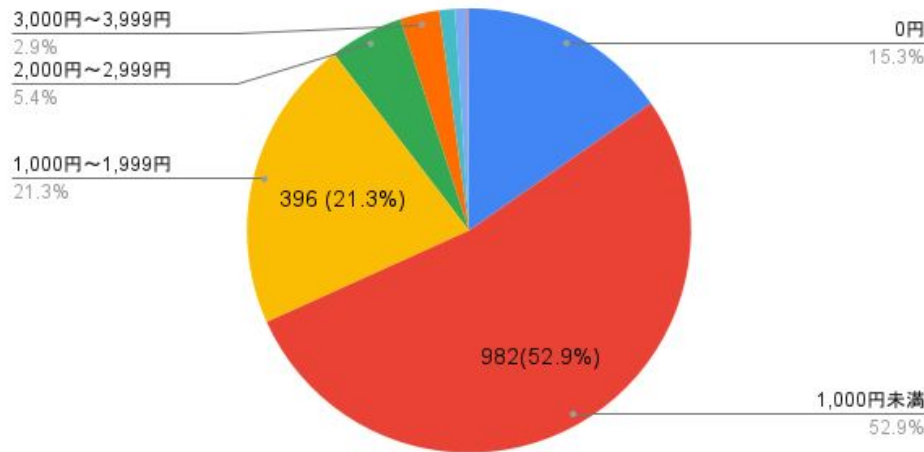
・今まで一度も連れて行けたことが無い。映画といえば家の小さなテレビ。大きな大画面で見せてあげたい。(お子さん：6歳)

・映画は贅沢なので連れて行ったことがありません。鬼滅の刃や呪術廻戦の映画の話題で一時期学校でみんなが盛り上がっていたけど混ざれなかったと子供が淋しそうに言っていました。(お子さん：小学5年生、高校2年生)

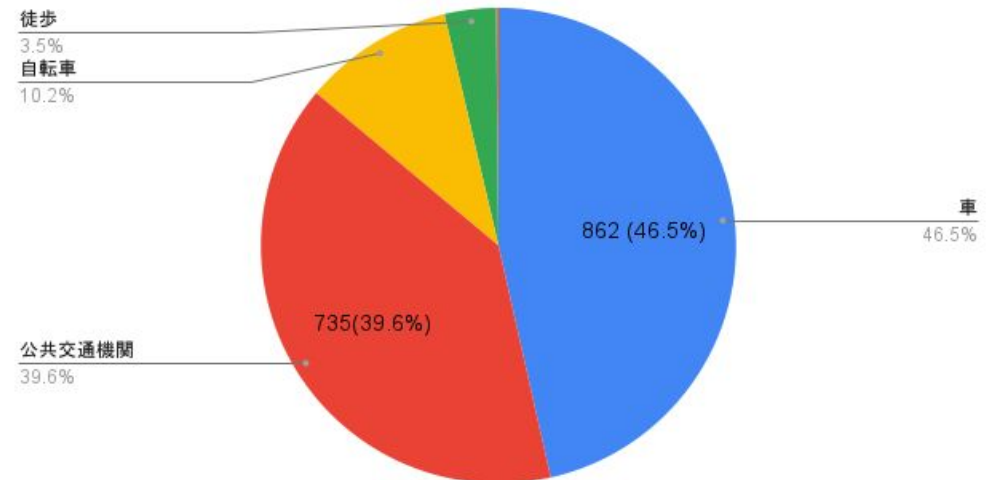
調査結果：劇場への交通費とアクセス方法 事前調査結果

映画鑑賞に必要な家族全員の交通費は、0円が15.3%（徒歩＋自転車とほぼ一致）。0～1,000円未満が68.2%＝**3分の2は交通費の懸念が低いと推測。**

最寄りの映画館への移動(往復)を家族全員でした場合かかる費用を教えてください。(n=1,855)

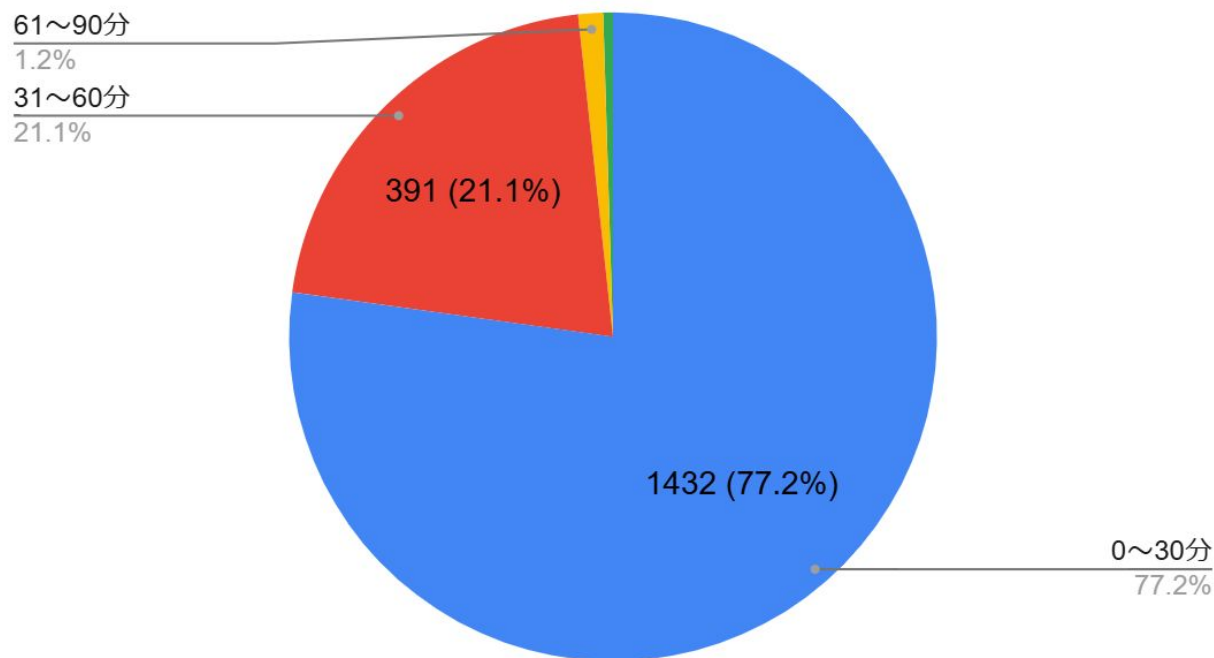


最寄りの映画館への主な移動方法を教えてください。(n=1,855)



劇場への移動にかかる時間について、保護者の77.2%が「0～30分以内」と回答。また、**98.2%が「60分以内」に最寄りの映画館に行ける**と回答。

最寄りの映画館への移動にかかる時間を教えてください。
(n=1,855)



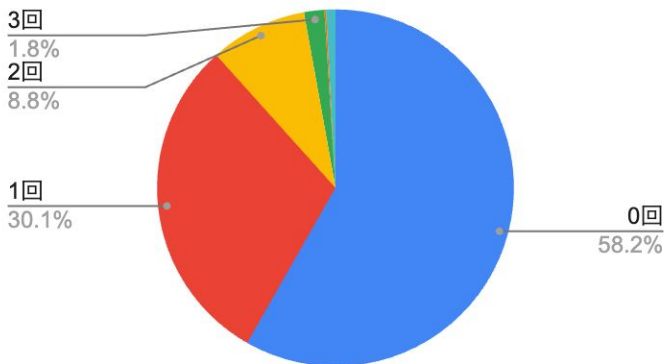
調査結果：映画鑑賞の回数×子どもの数

事前調査結果

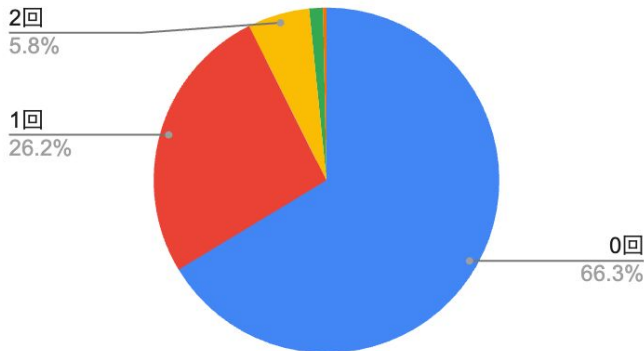
この1年で映画館での鑑賞回数は、兄弟姉妹の人数が増えるほど、無し(0回)が増える傾向にあった。

- ・0回でみると子どもの人数が1人58.2%、2人66.3%、3人以上67.4%となり、子どもの人数が多いほど映画鑑賞の経験がない(=経験が得られづらい)とわかった。
- ・過去に映画鑑賞の体験が1回以上ある場合も、子どもの人数が多いほど割合が少ないとわかった。

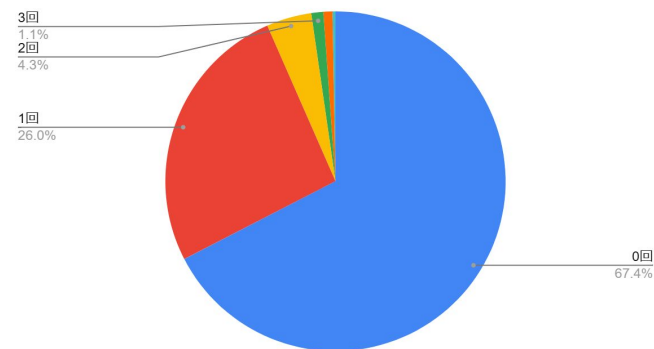
子どものこの1年の映画鑑賞回数【子どもの人数：1人】



子どものこの1年の映画鑑賞回数【子どもの人数：2人】



子どものこの1年の映画鑑賞回数【子どもの人数：3人以上】

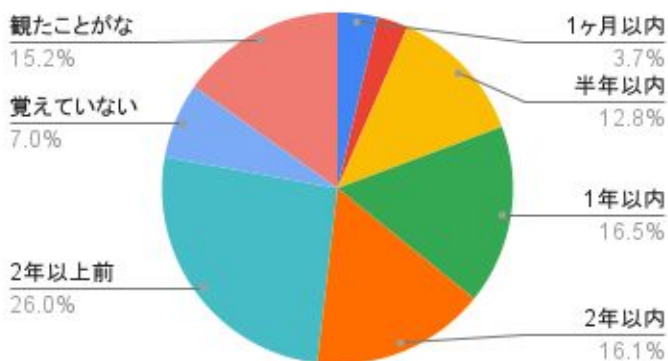


調査結果：映画鑑賞タイミング×子どもの数 事前調査結果

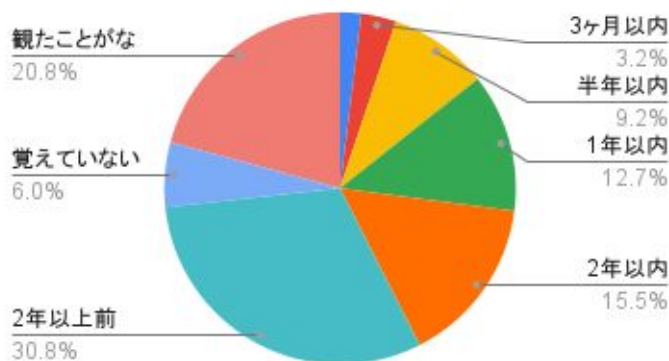
直近の映画鑑賞のタイミングは、兄弟姉妹の人数が増えるほど、映画を観ていない期間が長くなる傾向にあった。

- ・2年以上前、覚えていないでみると子どもの人数が1人33.0%、2人36.8%、3人以上48.0%となり、子どもの人数が多いほど映画鑑賞の期間が空くことがわかった。
- ・映画を観たことがない、2年以上映画を観ていない、覚えていないを合わせると、子どもが3人以上の家庭は、約7割が映画鑑賞を長らくしていないことがわかった。

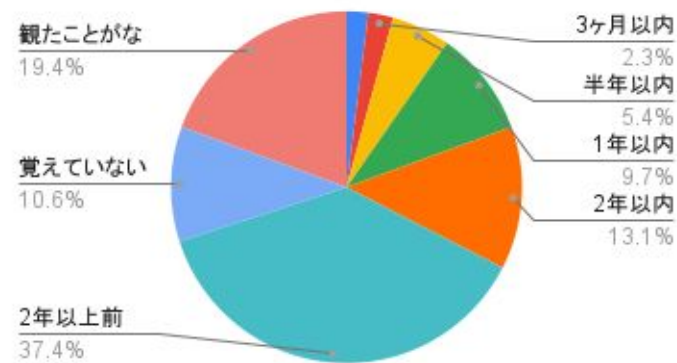
直近の親子での映画鑑賞体験のタイミング【子どもの人数:1人】



直近の親子での映画鑑賞体験のタイミング【子どもの人数:2人】



直近の親子での映画鑑賞体験のタイミング【子どもの人数:3人以上】



「我が子は小学六年生で初めて映画館デビューしました。家のテレビではなく、大きなスクリーンで見せてあげたいと思っけていても、金銭的な面でずっと実現できませんでした。」—といった声も。(事後アンケートより)

届いた声：夏休み中の体験不足

- ・息子にとって苦痛な夏休みが、少しでも楽しい思い出が出来るように 応募させていただきました。（お子さん：小学3年生）
- ・夏休みくらい映画館に行きたい、見たいと言われているが高いのでハードルが高いためいつも断っている。（お子さん：小学4年生、小学5年生）
- ・夏休みにどこにも連れて行ってあげることが出来ないため。（お子さん：中学3年生）
- ・夏休みに宿題の日記に書けるような楽しいお出かけをしたい（お子さん：中学1年生）
- ・夏休みに何か子供達の喜ぶ事を一緒にしてあげたい。（お子さん：6歳、小学6年生）
- ・夏休みにどこにも連れて行くことが出来ないので、1つでも楽しい思い出を作りたいと思い応募しました。（お子さん：小学6年生、高校1年生）
- ・色んなご家庭があると昔よりは認識されてきましたが、夏休み明け必ず夏休みどこにお出掛けしたか1人ずつ発表がする場があります。お友達はレジャー施設や旅行を上げる中、学童や公園という我が子に申し訳ないです。（お子さん：小学3年生）
- ・夏休みにどこにも連れて行ってあげる予定がないので、映画のチケットをもし支援して頂けるなら、ポップコーンなども奮発して購入して、楽しい夏休みの思い出が出来ればいいなと思いました。（お子さん：小学6年生、中学2年生）

届いた声：観たい映画がある

- ・ドラえもんやクレヨンしんちゃん、ミニオン等の映画公開のCMが流れるたびに ままー！おもしろそうねー！みたいねー！と数年言われ続け、いつかみにいこうね！と答えるのが精いっぱいでした。（お子さん：小学3年生）
- ・ついこの前子供からミニオンの映画見に行きたいなあって言われたけど八月は手当が入らない月だし学童のお弁当代などいつもより出費も多くて難しくて。（お子さん：6歳、小学2年生）
- ・大好きなクレヨンしんちゃんの映画を見たいとずっと言っていて叶えてあげたいから。（小学1年生）
- ・インサイドヘッド2を観たいとせがまれたが、経済的理由で行けなく子らに申し訳ない。（お子さん：小学2年生、小学4年生）
- ・ヒロアカの映画に行きたかったのですがお金がないので諦めました。（お子さん：小学3年生）
- ・いつも、観たい映画も地上波まで待つ子ども達。映画のスクリーンで迫力のあるキングダムを観せてあげたい。（お子さん：小学6年生、中学2年生、中学3年生）

届いた声：友達との会話

- ・子供が学校で友達から映画見たことないの？とからかわれたことがある。(お子さん：小学5年生、中学1年生)
- ・友だちが映画館に行ったと聞いたときに羨ましそうにしているこどもをみて。(お子さん：5歳、小学2年生)
- ・夏休みが近くなり、アニメ映画のCMが増えてきて、小学校2年生の長女がお友達と話す機会があり、映画館の存在を知ってしまった。行きたいと言うが、とても高いので行かせられない。(お子さん：小学2年生)
- ・子どもの友だちが映画に行っており、2年前から行きたいといていたため。(お子さん：6歳、小学4年生)
- ・友達が皆見ている映画は、次の年にテレビで見られるようになるまで我慢してもらっています。話に入れるように慣れれば楽しいだろうなと思い申し込みます。(お子さん：小学4年生、小学5年生)
- ・なかなか映画館に行くことが出来ていないことや夏休みに色々な体験をさせてあげることが出来ていないため休み明けにお友達との話に混ざれないこともあるみたいです。数少ない映画鑑賞の時にとっても喜んでくれて、お友達とその話題で花がさいたことを嬉しそうに話してくれたことが忘れられません。何か一つでも心に残る体験をさせてやりたいです。(お子さん：小学4年生、小学5年生)

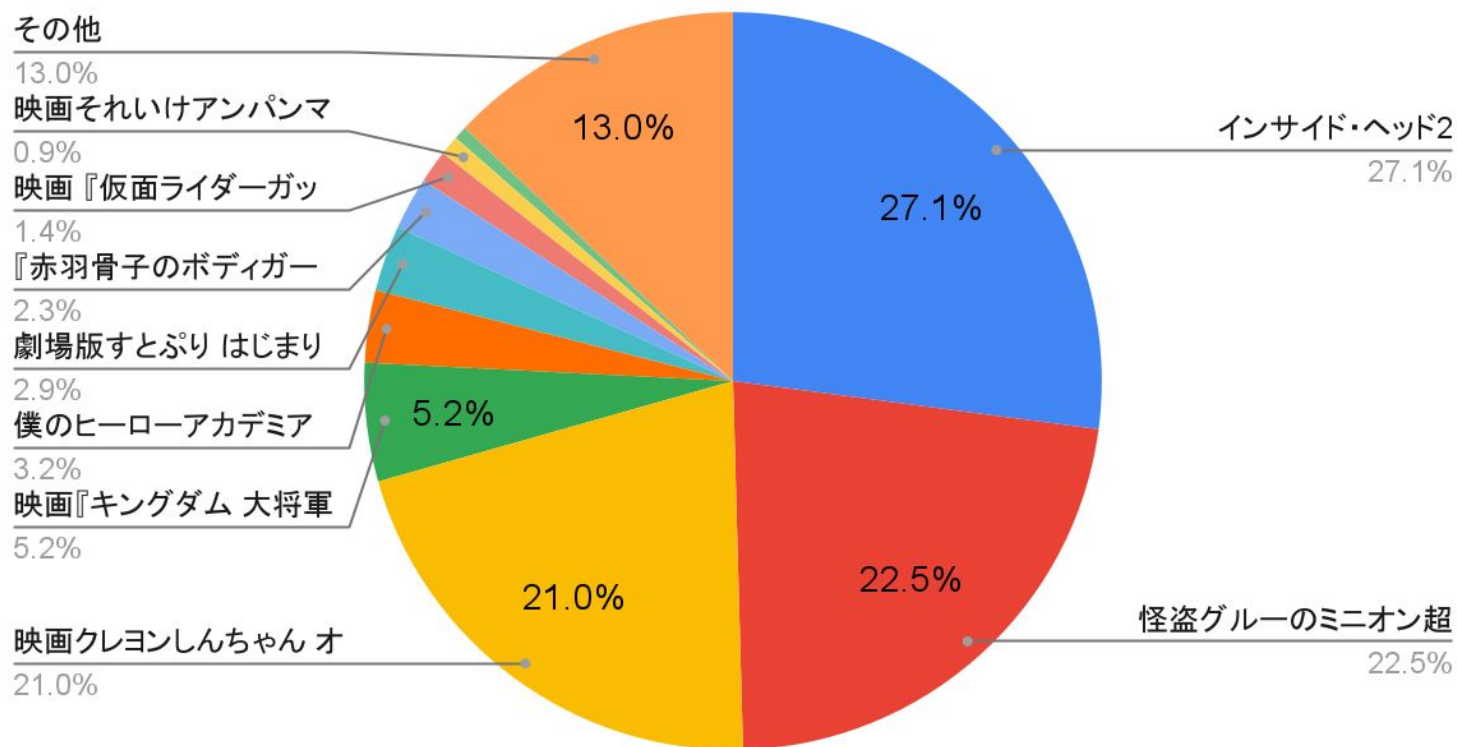
届いた声：映画が好き、映画を観に行きたい

- ・家族で映画館に行ってみたいという子どもの夢を叶えさせてあげたい など思い応募しました。
(お子さん：小学1年生、小学5年生)
- ・夏休みに映画なんて想像もしていないだろう子供達を喜ばせたくて。きっとかなり興奮すると思います (お子さん：小学5年生、中学1年生)
- ・夏休み映画に行きたいと言われたのを我慢してもらっているから。(お子さん：中学2年生)
- ・最近、映画を見たいと話して居たが経済的理由で行けないと断りました。(お子さん：小学5年生、中学1年生)
- ・映画見たーい！の、希望に1度も応えてあげられてないので、ご支援いただければと思います。(お子さん：5歳、小学2年生)
- ・夏休みに映画に行きたいと言っているが、生活が、困窮しているため連れて行ってあげられない。
(お子さん：中学1年生)
- ・子どもがよく、映画館に映画を観に行きたいと言うが、料金高くて一度も観に行くことができない
ている為。(お子さん：小学2年生)

事後調査結果

視聴した映画は「インサイド・ヘッド2」27.1%、次いで「怪盗グルーのミニオン超変身」22.5%、「映画クレヨンしんちゃん」21%と回答。

視聴した映画【n=347】



事前調査でも子どもたちから「観たい」という声が多かった3作品が上位に。続編やCM等での露出の多さも一因になると推測。

今までは映画を観たくても金曜ロードショーで放送されるまで待つか、TSUTAYAで旧作になるまで待つかしか選択肢がありませんでした。しかし、**今回大好きなミニオンを大画面で鑑賞でき、あの迫力は一生忘れないと息子が言っていました。**

TVで映画のCMが入るたびに、子ども達は観に行きたいと言っていました。時が経って、TVでやる時に観たり、DVDを借りて観るのも良いかもしれませんが大きなスクリーンでハラハラワクワクを子どもと一緒に体感出来、観終わった後にお昼ご飯を食べながら感想を話し合う時間が本当に楽しかったです。

観終わって1週間経ちますが、未だに映画の話をしつづけます（笑）DVDでは味わえない体験ができたと思います。

上の子は児童クラブで見た、インサイド・ヘッド1の続きが見られる！とすごく喜んでいました。トイレに行くこともせず、時間いっぱい見ることができました。

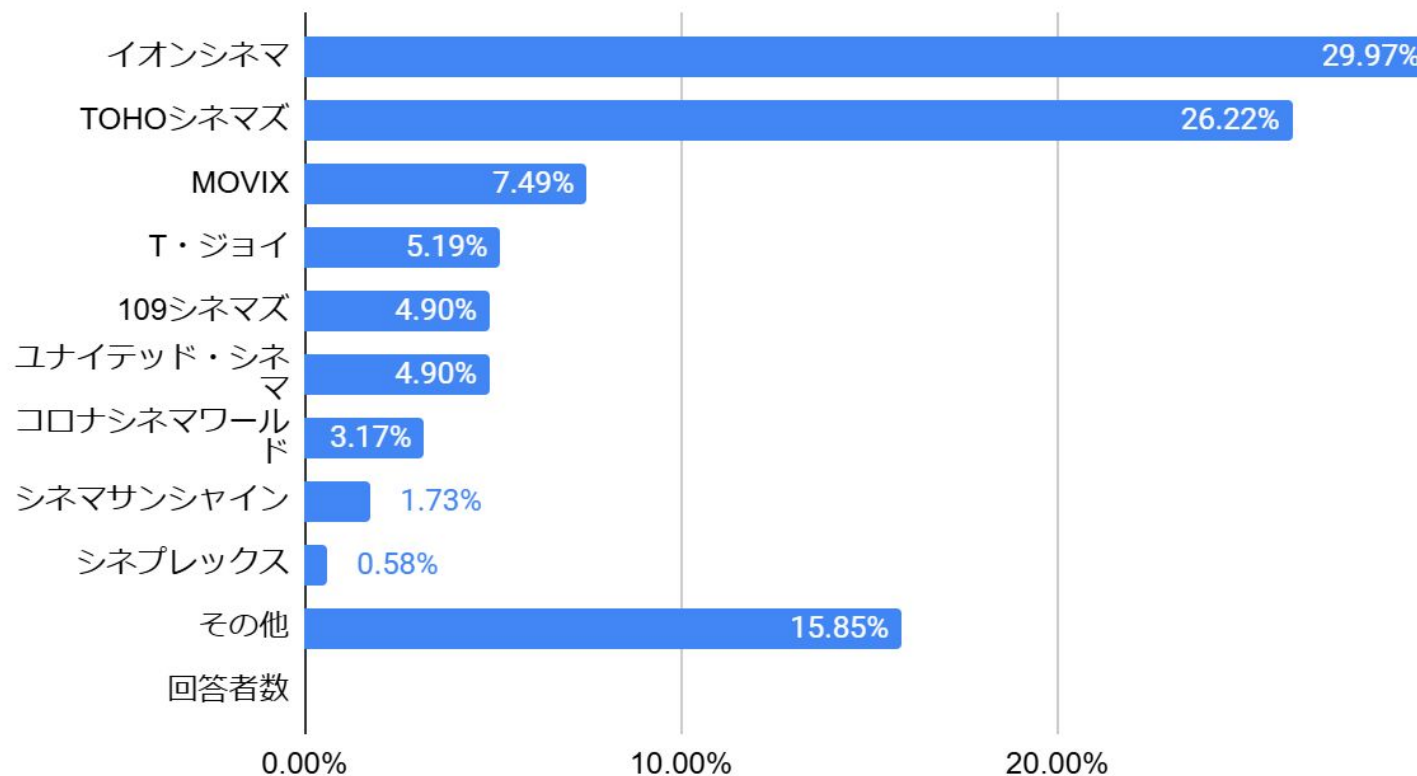
ふだん見れない大画面で見れて子供が嬉しそうにしている、行く前も何日前からいつクレヨンしんちゃんの映画を観るの?とワクワクしていて、小学校低学年なのでまだあまり感動して涙を流すとかわあまりないのに映画を観て泣いていて連れてこれてよかったと感じた

調査結果：視聴した映画館(法人名)

事後調査結果

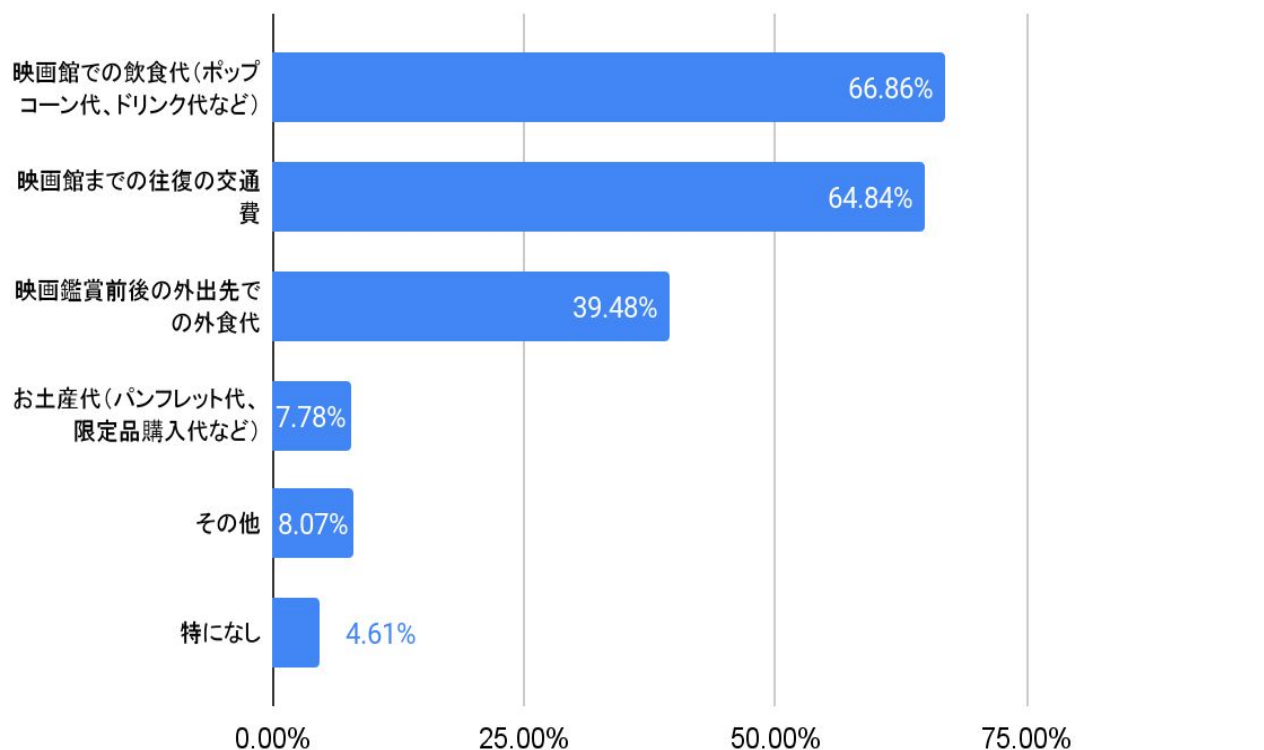
視聴した映画館は「イオンシネマ」が最多となり、29.9%と回答。
「TOHOシネマズ」26.2%、次いで「MOVIX」7.4%と回答。

視聴した映画館(法人名)【n=347】



保護者の**66.8%**が「**映画館での飲食代**」の費用がかかったと回答。
次いで**64.8%**が「**映画館までの往復の交通費**」、**39.4%**が「**外出先での外食代**」と回答。

映画鑑賞でかかった費用内訳(複数選択可)【n=347】



チケット代がかからなかったため「映画館内でのポップコーン代やジュース代」「映画鑑賞後のフードコートなどでの飲食代」にまわせた との声が多い。

子供たちの夢だった映画館のポップコーンも特別1人1つずつ買ってあげると大喜びで、寝る前まで今日楽しかったねとずっと言っていました。貴重な経験をありがとうございました。

――

こどもたちは初めての映画館で大きなスクリーン、音響に大喜びでした。お友だちから「映画館ではポップコーン食べるんだよ」と聞いていたようで、実際に映画館で食べたポップコーンは格別だったようです。

――

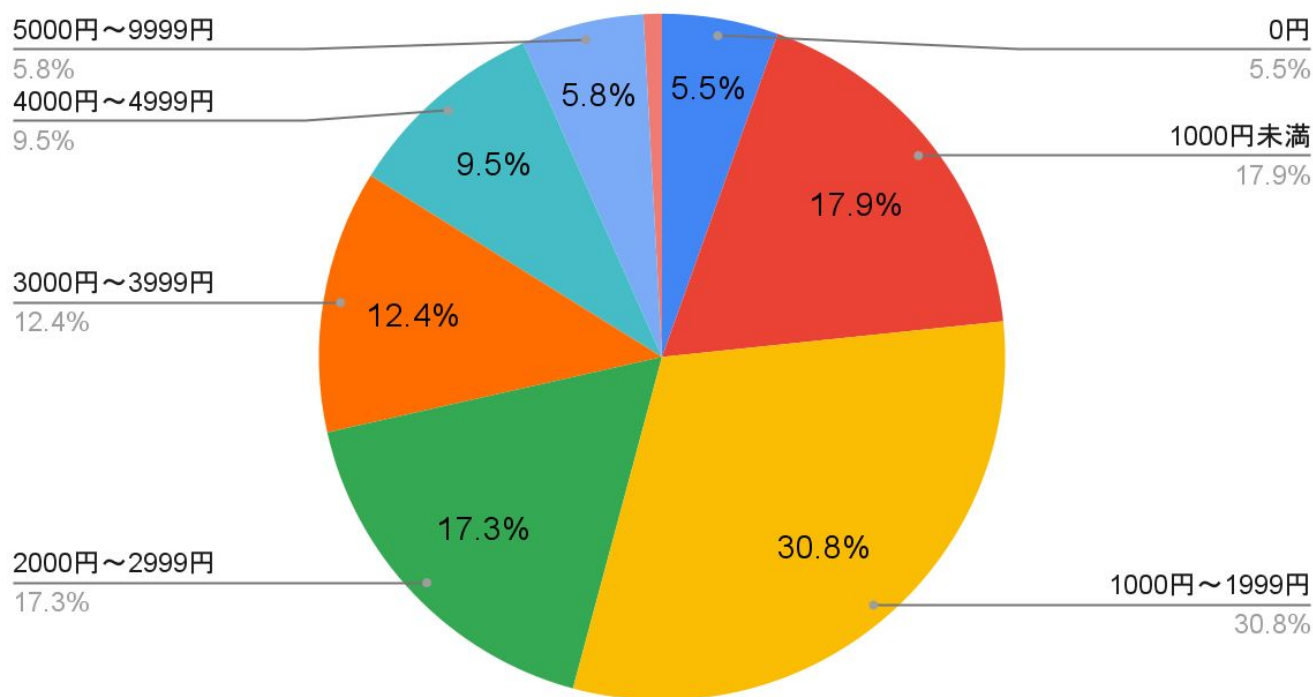
クレヨンしんちゃんの映画を鑑賞させていただきました。事前にスタンプラリーに参加して気分を盛り上げての鑑賞でした。ポップコーンを食べて、鑑賞後にはマクドナルドで昼食をとり、子どもに夏の思い出を作ることができました。

調査結果：かかった費用の合計

事後調査結果

約6割の保護者が「0円～1,999円以内」で映画鑑賞ができた と回答。
次いで「2,000円～2,999円」17.3%、「3,000円～3,999円」12.4%となった。

かかった費用の合計【n=347】



子どもの年齢が上がるにつれ、金額や親の負担感をわかる子も多く、チケット代がかからずに楽しめることに安堵している様子もあった。

最初、「映画チケットをもらえたけど行く？」と子どもに声かけすると、「行かない」との返事が。お金がかかることをわかっているの遠慮だったようです。

映画を観ながらポップコーンとジュースが夢だったと嬉しそうに話してくれました。

――

はじめて親子で映画館で映画を観れたことに、みんなで感激しました。

ポップコーンとジュースのセットの値段の高さには驚いたけど、せっかくだから買ってみました(映画代がかからなかったから、買ってあげられた)。ポップコーン食べながら、ジュース飲みながら大画面で観るっていう特別感をしっかりと味わってきました。

映画館で観るのは、家のテレビで観るのとは迫力が違って、子どもたちの興奮度合いも違いました！

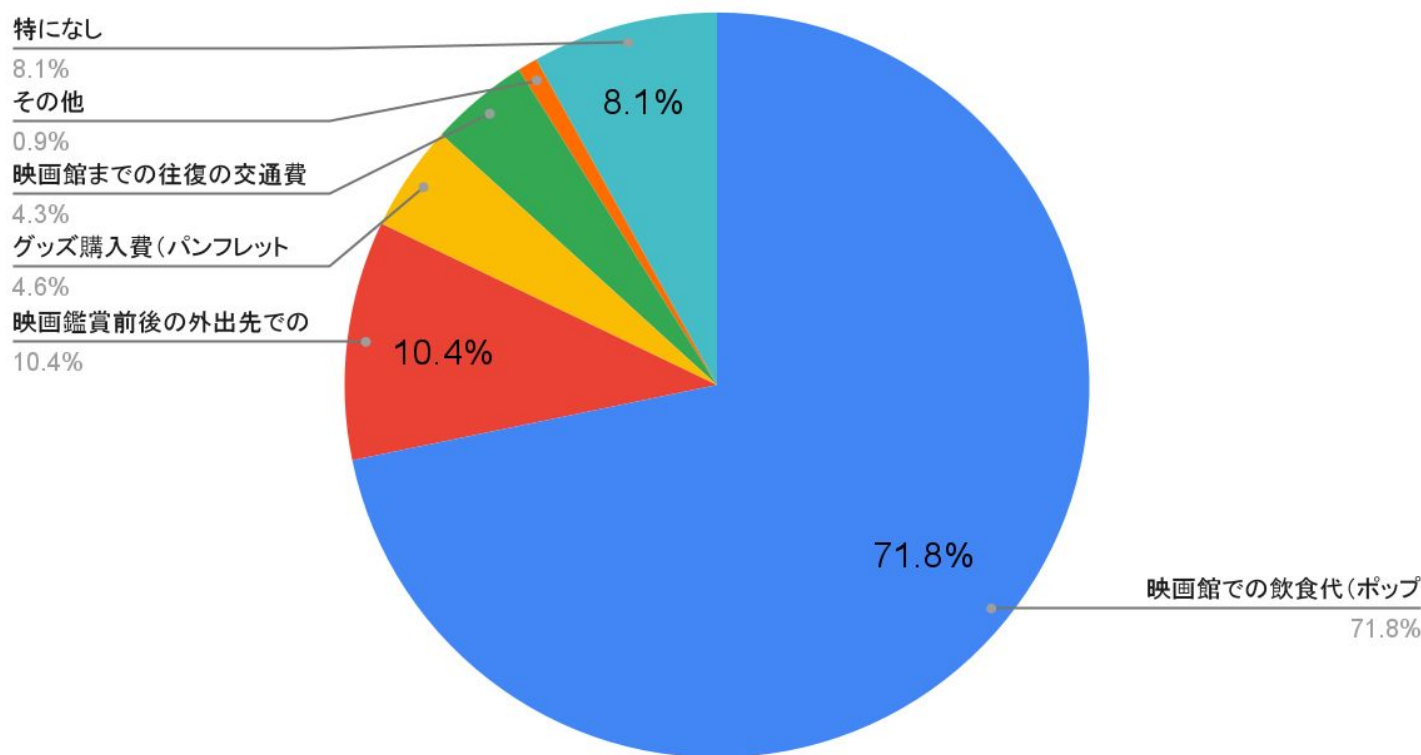
――

テレビとは違う環境で、テレビ放映を待たず作品を見れた事。

ポップコーンを食べながら映画を見るのが夢だったようで、叶えてあげられて良かったと思います。

保護者の**71.8%**が「**映画館での飲食代**」と回答。
次いで「**映画鑑賞前後の外出先での飲食代**」10.4%、「**特になし**」8.1%。

セットであると助かるサポート【n=347】



子どもの人数が多い家庭ほど館内での飲食代の負担が大きくなる傾向に。
中には館内での飲食は諦めた家庭もあった。

映画館といえばポップコーン、持ち込みは不可のため現地で買うしかありません。一つのポップコーンをみんなで分けて食べました。子どもたちにはとてもいい思い出になったと思います。

ありがとうございました。私も子どもが大きくなったら、こういった支援をする側に回りたいと思います。

―――

映画鑑賞出来たことを子供達がとても喜んでおり、楽しかったと言いながら笑顔で絵を描いており、皆様の善意に感謝で涙がでました。

映画館の売店でのポップコーンや飲み物は金額的な負担が大きく買ってあげられなかったのですが、それでも行ったことのない映画館で大きな音量で大きな画面で映画が見れて、また感動したこともお話してくれました。

―――

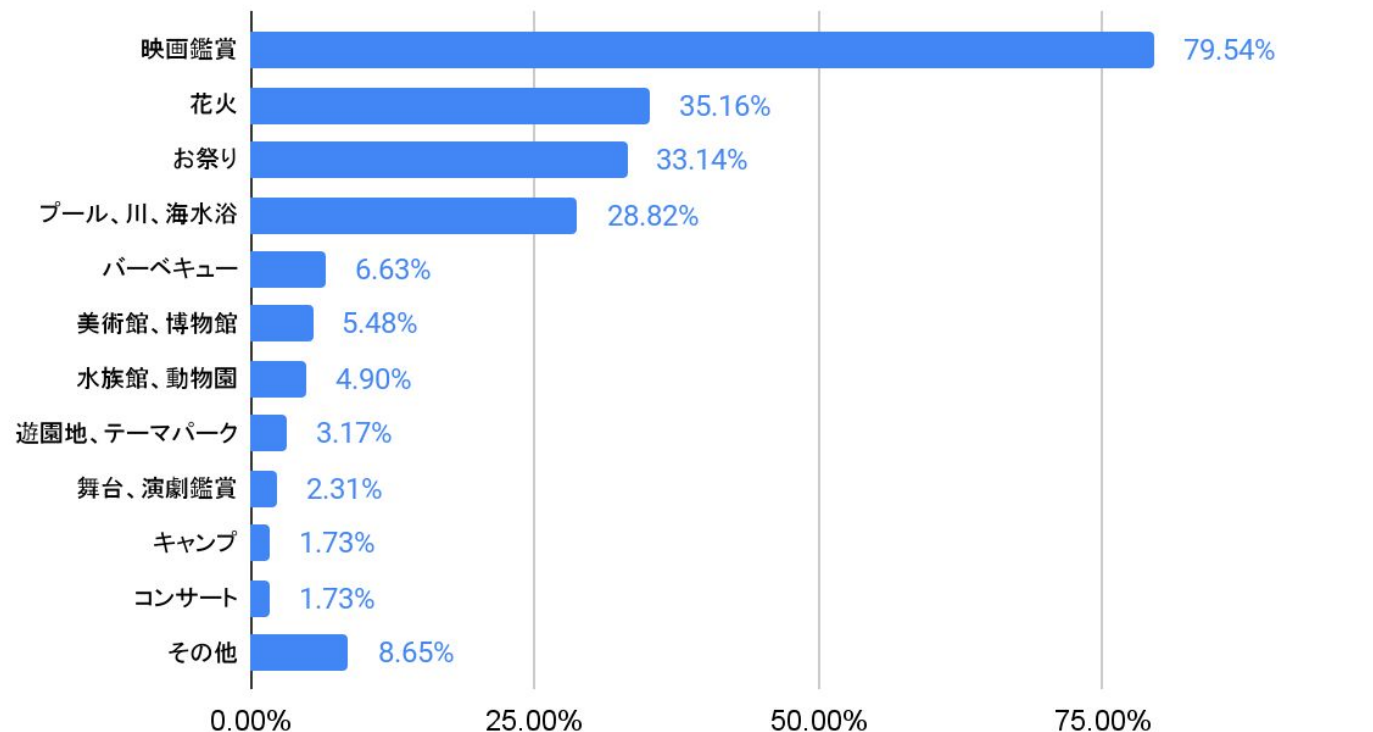
本当に久しぶりに映画館に行き、息子が「僕が貯めたお小遣いでポップコーンを食べようよ!!」って言ってくれてウルウルッと来ました。

調査結果：今年の夏休みの家族での体験

事後調査結果

約8割が「映画鑑賞体験」と回答。次いで「花火」35.1%、「お祭り」33.1%と回答。

今年の夏休みの家族での体験(複数選択可)【n=347】



無料かつ近場でのできる体験をあげている家庭が多かった。
夏休みの体験としては「映画鑑賞体験のみ」だったという声も多数 みられた。

この夏休みで映画館以外では特別なお出かけはありませんでした。なので、映画館に行ったことを絵日記にも書いていました。夏休みに通常とは違う体験ができてよかったです。

夏休みの絵日記に、早速嬉しそうに映画鑑賞に行った事を書く長女の姿、園に登園した際に興奮しながら映画鑑賞に行った事を伝える次女の姿を見れて私も最高の夏休みになり嬉しかったです。

例年、どこにも行けず夏休み食いつなぐだけで精一杯です。

毎年夏休みは旅行等には連れて行けず予定も立てれず、行けるのは学校での盆踊りのみです。今回映画鑑賞という素敵なプレゼントをいただき本当に感謝しています。

子供たちの夏休みの宿題の絵日記には2人とも映画鑑賞のことが書かれていました。

楽しかった、嬉しかった、また行きたい!

久しぶりにキラキラした子供達の笑顔がみれてうれしかったです。

長期休みはなるべくお金をかけず、お弁当を持って近くの動物園や公園、子供と何も買わない約束をしてお祭りや花火大会へ行くなど工夫をしてきました。今回、このような機会をいただき、初めて子供と二人で映画鑑賞をし、とても贅沢な時間をすごさせていただきました。

本格展開に向けて

皆さまからのアンケート(一部)

映画鑑賞にジュースとポップコーンを付けてあげたい です

――

映画に人生を支えられてきた者として、映画館で映画を鑑賞するという文化がこれからも残ってほしく、そのためにも今の若者や子どもたちに体験の機会を増やしたいと個人的に考えていたので、とても素晴らしい企画だと感じました。ムビチケを使うことで、親子の好きな映画館を選ぶこともとても大事なので継続して行ってほしいのですが、並行して、ミニシアターは経営難なので何かタイアップができないかと思います。また、チネチッタなどチェーンではない大型映画館とも何か企画はできそうな気がします。"今だからこそ10代に見てほしい映画祭"とか、"お母さんが青春時代にハマった映画を子どもと一緒に観る会"などは浮かびました。

――

映画は本を読むのと同じくらい、人生において大きな影響を与える文化だと思います。道徳や教養、芸術への目覚めなど、思い出作り以上の結果を子どもたちにもたらすものです。ぜひ、今後もこの企画を続けてほしいです。

――

映画館に行くと、販売している飲み物・食品の値段が高いと感じる。飲み物代も含めて支援できたらよいと思う。

――

映画鑑賞の体験が繋がっていく事で、映画業界の支援にも繋がると思うので、映画館や配給会社とも連携して、盛り上げて欲しい

皆さまからの投票の結果・・・

シェアシネマ

に決定しました👏✨

本事業の最大の特徴

既存事業の特徴・・・



ブックサンタ

自分の中で積み重ねられる
教育的な要素もある



シェアケーキ

誰にも共通する
絶対的な愛情の要素

第3の事業「シェアシネマ」の特徴

- ①他の人とのかかわりや新しい世界に触れて
エンタメから学びを得られる
- ②普段はなかなかできないような
家族で一緒に過ごす時間 を作れる
- ③映画を観る前から観た後まで
**映画館以外の時間も含めて
かけがえのない思い出になる**

本事業の最大の特徴

③映画館以外の時間も含めて、かけがえのない思い出になる

両親が揃った子にとってはイオンモールに行くことなど当たり前の日常で、週末のたびに行くご家庭も珍しくはないと思いますが、私の家にとっては移動や行った後の食事代や買い物費用なども含めて気軽に行くことはできません。今回イオンモールで映画を観て、少しですがお買い物をして、フードコートで食事をするというトータルの経験ができたことは、子どもたちにとって、周りのお友達にとってはごく普通の日常を同じように過ごさせてあげるとても貴重な経験になりました。

映画を見る機会がないので、映画の席を娘に選ばせてみることで、初めて「一番前で見てみたかった」という、娘の意思を聞けたり、尊重することが出来ました。

娘本人、家計の都合をふまえ映画は普段諦めているので、親が娘の映画を見たかったことさえ知らずのまま、月日を過ぎてるところでした。しかし、予算の限られた飲食メニューの選択や、映画や映画の席の選択を娘にさせてやることができ、また、2人ですることのない外食(うどんとかき氷を2人で半分こ)や、映画の内容を共有する有意義な時間となり、感謝しています。

初めて家族全員で映画館で映画を観ました。チケットが当選してからは何を観るのか、当日は何を買うのか、映画館ってどんな所なのかな?などとても盛り上がり、子供達も楽しそうでした。

チケットを店員さんへ見せて、入ってから席を探す、折り畳んである椅子に座る。大きなスクリーンで観る。終わった後にも感想を言い合ったり、帰ってから絵を描いたり。家で観る映画とは全く違う子供達の表情でした。家族みんなで同じ経験をするという機会があまりなかった為、今回はとても幸せな時間になりました。

本事業の最大の特徴

①他の人とのかかわりや新しい世界に触れて、エンタメから学びを得られ

子どもが見たがっていた映画を鑑賞できてよかったです。映画のために図書館でその歴史を調べたりして、本人はとても充実したようです。また、まだ見知らぬ異国の風景や、舞踊の美しい映像とともに、大音量で子どもの好きな楽曲を聴けてとても喜んでおりました。素晴らしい体験をありがとうございました。お陰様で夏休み唯一の、思い出に残る体験となりました。

――

市民プールや花火、お祭り等、近所で(交通費がかからない)済ませられるものとは違い、電車を使ってお出かけする体験は特別感があって良かったです。

映画鑑賞におけるのマナー(飲食物持ち込み禁止)も映画館へ実際に足を運んだからこそリアルに教えられて良かったと思います。

――

映画館の一例、誰も居ず、私たち家族のみでした。ですが、子供にとったら初めての映画館。いつもは話し声もうるさいのに、TPOにあわせて声を小さくお話しする姿も見ることができ「今は話さないよ」と伝えると「わかった」と静かに見ることができました。

――

息子と二人揃って同じ画面を2時間観ることが出来た。思っていたより、クレヨンしんちゃんの映画は面白く、私も楽しめた。仕方なく同じものを観ることは、新たな発見につながった。

映画はこういう手順で観るんだ、というものを教えることができた。ポップコーンは常識。上映予告も長い、など。

本事業の最大の特徴

②普段はなかなかできないような、家族で一緒に過ごす時間を作れる

長男が生まれて初めての映画館だったので、まず、当選したメールを頂いた当日に伝えたところ、ものすごく喜び、その夜は眠れないとはしゃいでいました。

映画の前日は、スクリーンはテレビの何倍くらいあるの？など沢山質問され、とても楽しみにしているんだなと私まで嬉しい気持ちになりました。終わった後も、またいつかみんなと来たいねと言っており、今も言うております。

――

夏休みも私が仕事の為、お家でお留守番させてしまうことが多くほとんどどこにも行けなかったのですが久しぶりに映画を観ることができて、ゆっくり2人きりでお出かけやお話しすることができ最近2人でゆっくりと過ごす時間が減っていたなと反省するとともに、小学5年生になった息子と2人でこういう時間を過ごすことの大切さに改めて気づけました。

――

映画館での限られた空間の中で、しかも上映中は会話ができない中で、我が子と目と目、心と心で会話ができ、素晴らしいと感じました。2人だけの深い時間をすごせました。我が子との時間をこれからも大切にしたいと強く思いました。

今後について

■次回の実施

2025年の春休み(予定)

■招待するご家庭数

760組(子ども1,200人+保護者800人=**親子2,000人**)

目指したい状態

◎家庭にとってより充実した「**支援の仕組みづくり**」

└ 使いやすさの改善、チケットとポップコーンなどセットでのプレゼントの計画

◎寄付により得られる喜びや楽しさを感じてもらえる「**寄付体験の仕組みづくり**」

└ 寄付者の皆さまにとって寄付が直接的にプラスになる仕掛け

◎映画業界との「**連携/関係づくり**」

└ 一緒にプロジェクトを作りあげ、映画業界でも盛り上げるような取り組み



招待する家庭を増やし、安定的に支援を継続できる

夏休みと言えば子ども向けの映画が目白押しです。住んでいる地域にもよるでしょうが、我が子の周りでは「〇〇の映画観た？」「〇〇観に行こう！」「〇〇めっちゃ良かった！絶対観た方がいいよ」等々、映画の話題が頻繁に出ます。今娘は高校生ですが、小学生の頃から長期休みになると必ず、です。

友達との共通の話題に入れる映画鑑賞はどの年代のお子さんにとっても、とても貴重な夏休みの経験になる、と確信を持って言えます。映画を観終わって感想を話す時、嬉しさに輝いた顔を親としてまた見たいです。

―――
大きなスクリーンで、迫力のある映像と音声で観賞することができ、とても感動しました。映画館の雰囲気、非日常的で特別な体験となり、夏休み1番の思い出になりました。

CM等で流れていたり、小学校でお友達との話題にもあがる映画の話が、いつもは加われず疎外感を感じてしまっていたのですが、自分たちが実際に観に行くことで話に加わることができたそうです。

―――
時間もお金もなく夏休みだからと言って何か行動ができるわけではありません。プレゼントしていただけると行動できます、子供達と一緒に出かけることができます、そして子供達の笑顔、思い出を作ることができます。いつも夏休み明けに友達と会話もできません、夏休みの思い出がないからです。今年はお友達と楽しく会話が出来ると思います。我慢の毎日ですので、とてもとてもありがたいです。楽しいことが待っていると思うと日々の我慢も我慢できるみたいです。映画を楽しみに夏休みの勉強も頑張ることができました。人の優しさに触れ子供達も誰かに優しくしようと思ったみたいです。子供達の心も成長できました。

子どもの夏休みで1番大変なことは、毎日のお昼ご飯の用意です。手間がかかるとかではなく、子どもの1食分でも毎日重なりと大きな金額となります。本当に余裕がないため、娯楽どころか当たり前のように子どもに与えなければならないごはんでは家計を圧迫されるくらいカツカツの生活をしています。

毎年長期休みは、どこにも行かず何もせず過ごしています。今回このような機会をいただき、本当にありがたく思いました。

うちの上の子は6年生ですが、この企画のおかげで初めて《〇〇にお出掛けした》というような日記を書くことができました。

クラスの子たちは当たり前のようにみているし話題にしている映画をみせてあげられない(1000円を出せない)ことに自分自身悲しくもなりましたが、この企画があったからこそ映画をみるという他の子は経験していることを経験させることができ《普通の子》の体験をさせていただいたこと本当にありがたく思います。

―――
お陰様で、うちは当選して子供にも思い出を作ってあげられたのですが、落選した家庭もあり何だか申し訳ないです。毎年ですが夏休み、冬休みなどの連休などあってもどこにも連れて行ってあげられないし思い出も作ってあげなくて、日記を書くこととなく困ってます。

旅行など行く家庭もあるけど、貧困家庭は日々生活するのがやっとなので子供には申し訳無いですが我慢して貰うしかないですが、このような機会を毎年持って頂けましたら、多くの貧困家庭も救われると思います。すみません。何だか上手く言えなくて汗

届いた声：本事業の必要性②

高校生2人と小学4年生の3人でどの年齢でも楽しめる作品を、子供たちが話し合っていて決めていました。今回、映画館にいけるなんて最高と、盛り上がっていました。映画を観ながら、家族でくすりと笑ったり日常と違う世界にワクワクとドキドキして、毎日節約やギリギリの生活ですがそれを少しの間忘れられました。帰り道も映画の話しながら家族でたくさん笑って帰りました。素敵な一日を過ごさせていただきありがとうございました。

こんな機会がなければ映画を観ることはなかったと思います（映画にお金を支払うという選択肢は無かった）。テレビで見たら良いと考えたし、絶対に大人の私の分は購入せず、子どもだけに見せて私は外で待っていたと思います。年齢が今は離れた兄妹なので、同じものを観る機会も無かっただろうし、兄と一緒にミニオンズを見てくれることもなかったと思うし、支援頂けた機会だから3人で出掛けることになったし（最近兄は一緒に行動しない）、3人で並んで一緒に見たし、こんな機会は、このプレゼントがなければ設けることがなかっただろうし、いつも3人分の支払いは出来ないの、誰かが外で待つか別行動だったのが、一緒に体験して、だから終わってから内容について話をする事が出来たし、テレビでは成立しなかった経験で、映画館で映画を見るチケットだから、こんな時間があると思うと、本当に有り難く、私は、映画の内容よりは、その状況に、ミニオンズを観ながらウルウルしてしまいました。

生活が困窮してるのはひとり親だけではないのは重々承知してますが、ひとり親は手が一つしかないの、本当に不便なことが多いです。収入も子供のお世話も、2人親に比べて半分。そのなかでこのような企画をしていただけるのは本当に助かっています。

子供とのお出かけや会話のきっかけにもなり、経済的な支援以上のものがありました。

届いた声：本事業の必要性②

応募数に対しての当選者数に驚きました。沢山の方々が落選した中で当選させて頂いた事、本当に心から感謝致します。

我が家に関しては、数年ぶりの映画でしたが、何度か映画を観たいと言った息子に「息子だけ観ていいよ。私は外で待ってるから」と言いましたが息子は頑なに1人では観ようとしませんでした。私と一緒にじゃないなら我慢すると…。だから今回、当選させて頂き、一緒に観れるという事が一番嬉しいと言っていました。

今回は大好きなミニオンが上映されていたので、もしかしたら上映映画も合わせて頂いたのでしょうか？

子供が観たい映画があると、一番いいですね。

夏休みという事もあり、子供さんたちが多かったです。やっぱり子供も大画面、大迫力で映画を観るのは贅沢で嬉しいんだと改めて思いました。

息子の嬉しそうな楽しそうな顔を見れて、私は幸せでした。

そして、私も凄く楽しかったです！

――

不甲斐ないことに、毎日食べていくだけでもやっとで、なかなか娯楽に回せるお金がありません。息子のお友達は旅行やプールなどに行っているものの、今年は学校のプール開放もなく、市民プールにすら連れて行ってあげることができませんでした。物価や光熱費が驚くほど高く、毎日必死で働いていても貯蓄に回すほどのお金が残りません。もう4年生で学童にも行けず、夏休みは家か図書館でずっと過ごしていた息子でしたが、今回映画館に行かせていただき、大好きなミニオンを観ることができてすごく喜び幸せな体験をさせていただくことができました。娯楽は必須ではない、わかっているのですが、こうやってご支援のおかげで息子に幸せな体験をさせていただくことができ、本当に言葉にできない感謝の気持ちでいっぱいです。

団体紹介

ミッション：子どもたちに、愛された記憶を残すこと
ビジョン：子どものために大人が手を取り合う社会



NPO法人チャリティーサンタ

Charity Santa



■団体略歴

- 2008 活動開始
- 2011 被災地支援開始
- 2014 NPO法人化・出版
- 2015 調査・困窮家庭支援
- 2016 白書発行
- 2017 ブックサンタ開始
- 2018 文京区協働
- 2019 岡山市協働
- 2021 体験・誕生日の調査
内閣府より表彰
- 2022 シェアケーキ開始

※特定の国や宗教とは関係ありません